

## 大型ヘリによる住民避難訓練を実施！

平成24年8月28日、奥尻空港で大型ヘリを使用した住民避難訓練を実施しました。

この訓練は『奥尻町国民保護計画』に基づき、武力攻撃やテロ活動のほか、大規模災害が発生した場合を想定した「離島での住民避難訓練」として実施するもので陸上自衛隊の協力を得て実現しました。



訓練では消防団や町内会の方を中心に50名あまりの住民が参加し、大型バスに乗って空港へ避難した住民は、武力攻撃などから人命を守るため武装した自衛隊員に護衛され、奥尻から本土への避難を想定し、大型ヘリに搭乗し奥尻町周辺をフライトしました。

この訓練の実施によって、普段ヘリに乗る機会がない私たちにとって貴重な経験となったことや大規模災害などでヘリによる避難が必要となる事態となっても、この経験が活かされればと思います。

### 奥尻町国民保護計画って何？

奥尻町国民保護計画（平成19年1月策定）は国民保護法（正式には『武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律』）に基づき策定した計画で、この法律は、平成13年のアメリカ同時多発テロを契機に国が武力攻撃やテロ活動に備えるため、平成16年に関連法案も含めて制定されました。



国民保護法は、武力攻撃やテロ活動へ備えるための法律ですが、奥尻町で果たして、そのような事態が起こるのか？……と疑問に思う方もおられるかと思います。

しかし、万が一そういった事態が発生した場合『想定外』という言い訳は通用しません。いかなる事案（災害を含む）に対しても備えが必要で自分の身は自分で守る意識が大切です。

## 秋の全道火災予防運動

北海道では、秋になると暖房機器の使用等により火災が発生しやすい時期を迎えます。

最近の各地の住宅火災では高齢者等を中心に逃げ遅れて亡くなるケースが増えています。



奥尻町では、長期間、火災による死亡事故は発生していませんが、火災が発生すると大惨事になる可能性があります。

火災を発生させないために、日頃から家庭や地域・職場等において火災予防に心掛けましょう。

## ◆ 奥尻町防災訓練 ◆

平成24年8月31日『奥尻町防災訓練』を実施し、約600名の方が訓練に参加しました。

今年の訓練では地震による津波被害を想定した「住民高台避難訓練」と「要援護者避難訓練」などを行い、この訓練により、日頃の備えの大切さや防災に対する意識の向上が図られました。

